

東白川はお寺の無い 神道の村

東白川村は、全国でも珍しいお寺の無い村、神道村です。

これは、明治初年に新政府が行った神仏分離令に端を発したもので、当時東白川村は、廃仏に急進的な平田国学が隆盛していた苗木藩下にあり、神仏分離政策が廃仏毀釈運動へ発展。当時あったお寺は打ち壊され今なお、寺は無く、冠婚葬祭全てが神道式で行われています。

神道の大切な神事として“祓い”があります。祓いは一般的に罪・穢・災いを取り除く神事といわれています。ひいては“清浄を保つ”こと、つまり、美しい状態を保つことにつながります。そうした意味で、神道の村の住民にとって、この美しい状態を守り、後世に伝えることは大切なことなのです。



廃仏毀釈の激しさを物語る四つ割の南無阿彌陀仏碑

発行／東白川村総務課企画係

〒509-1392 岐阜県加茂郡東白川村神土548番地
TEL 0574-78-3111 FAX 0574-78-3099

<https://www.vill.higashishirakawa.gifu.jp/>



東白川村 美しくスポット マップ



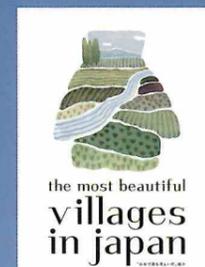
【村の花】ミツバツツジ

昭和55年「村の花」に指定。ツツジ科の落葉低木。種類が非常に多く、うす紅紫色の花が多い。



【村の木】ハナノキ

昭和48年「村の木」に指定。カエデ科の落葉高木。秋には葉が鮮やかに紅葉や黄葉に色づき、木全体が花のように見えることからその名がついたと言われています。



東白川村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

東白川村 美しスポットマップ



1 白川茶発祥の地

村の特産白川茶の起源は約600年前、大沢村蟠龍寺の住職が、宇治から茶の実を持ち帰り、里人に茶の栽培を奨めたのが始まりと言われています。



2 蟠龍寺跡(石積み)

東白川村五加大沢に所在する青松山蟠龍寺の屋敷跡。屋敷跡の石積みは巧みな技法がみられ、貴重な遺構です。



3 裾神さま

五加大沢の県道沿いにある小さな祠。地元では裾神さまと親しまれ、昔から婦人病にご神徳があるとも言われています。毎年4月29日のお祭りには大勢の参拝者が訪れます。



4 五介の滝

五加久須見の久須見谷にある高さ3メートルの小さな滝。この滝には「五介と又衛門」の伝説が残っています。平成6年「五介の滝公園」として整備しました。



5 長淵の碧潭

通称、「白川寝ざめ」とも呼ばれる景勝地。碧潭（へきたん）とは青々とした淵という意味です。
※東白川八景の一つ。



6 不動滝(大口)

東白川村の神土と五加の境にある小滝。往昔はホタルの名所だったとか。「不動の清漣（せいれん）」として東白川八景の一つ。
※清漣＝清らかなさざなみ



7 沓掛の紅葉

つちのご館の裏手の景観。溪谷の趣、山のたたずまい、岩石のおもしろさ白川の清流に臨む。
※東白川八景の一つ。



8 神田神社の紅葉

お寺の無い村東白川には、神社が5社鎮座しています。その中で創建が養老2年（718年）とされ、延喜式神名帳にも掲載される古社神田神社。神社に上がる石段前の鳥居付近の紅葉は、村の秋の風物詩です。



9 村の新名所「夢さくら」

「東白川村に桜の名所を」を合言葉に有志による「鮎が瀬夢さくら」が発足したのは平成10年。毎年春、しだれ桜の開花の時期には、「夢さくら花見会」が催されています。
平成24年からはライトアップもされ新しい村の名所となりました。



10 つちのご神社

東白川村は全国屈指の珍獣つちのご目撃多発地域。この神社は、かつてつちのごの死体を埋めた場所の土をご神体として祀られたものです。



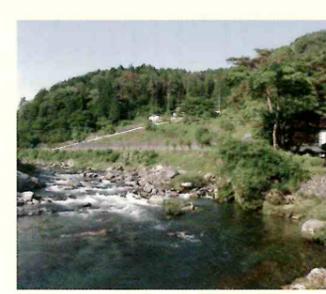
11 不動滝(親田)

神土親田地内の不動滝は、「魚がえり」とも呼ばれ、寒陽気山を源にする佐広川のせせらぎにかかる小さな滝。この滝は平成9年岐阜県の中央部に位置する中濃地方拠点都市地域（5市8町村）の行う日本公園村「こころに残る50景」に選定されています。



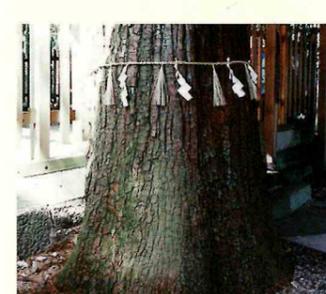
12 母樹林公園

母樹林公園は、100年生ほどの桧が立ち並び人工林の林野を公園としているものです。この母樹林は、昭和36年に県から母樹林としてまた1級採種林としての指定を受けました。近年、有志によりこの公園を利用し「森の美術展」と題したアートイベントが行われています。



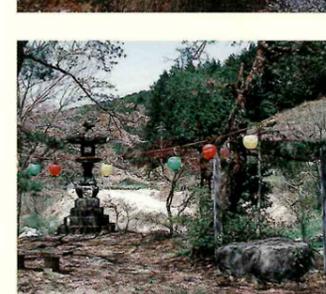
13 池之島の眺望

岩盤上に老松が生い立つ白川沿いの景勝地の一つ。
※東白川八景。



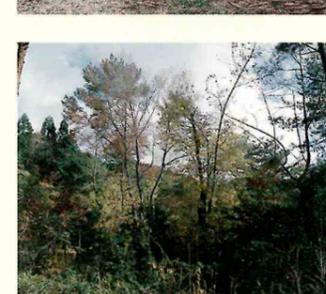
14 越原神社の大スギ

推定樹齢500年。村に現存する巨樹名木の中で、最も優れたものである。昭和54年、東白川村指定天然記念物第3号に認定。



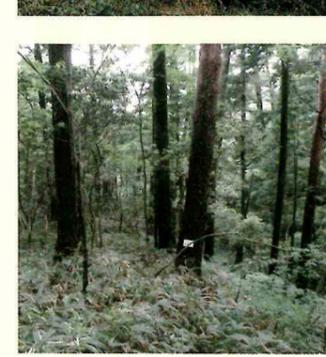
15 黒淵の石造物群

信仰の対象である石造物は村にも多く、各所に散在しますが、数種の信仰が同一の場所で行われる例は少なく、そうした意味で、この石造物群は、村の信仰習俗をさぐる貴重な風景です。



16 はなのき自生地

越原ハナノキ自生地は、標高700mの山地に位置しており、その面積は約17,000㎡。このあたりは、自生地分布としては北限といわれています。大正11年、国の天然記念物に指定されました。



17 郷土の森

越原国有林の一部であるこの森は、村の特産である東濃ひのきを含む樹齢150年余の天然林があり、村内に残る唯一の温帯針葉樹林として学術的にも貴重な森林である。村ではこの森を「郷土の森」として保護し、森林教室や自然観察の場として利用できるよう東濃森林監督署と保存協定を締結しています。

※「東白川村八景」＝大正8年（1919年）5月1日、岐阜日日新聞が発行した「東白川発展号」と題する特集号で紹介された東白川村の8カ所の名勝